

【令和3年度 理科授業改善推進プラン】小平市立上水中学校

理科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

- ・授業で学んだ基礎的な知識を用いて、自然の事象について、論理的に仮説を立てたり、結論をまとめたりすることができる。
- ・授業で学んだ実験・観察の技能を活用して、結果を分析したり、解釈して表現したりすることができる。
- ・自然の事象に関心を持ち、学習したことと結び付けてとらえようとする。

学習状況及び課題

	1 学年	2 学年	3 学年
学習状況	・観察に意欲的に取り組む。 ・班員で協力して、お互いに声をかけ合い、発表の準備や実施をすることができる。 ・提出物を期限内に仕上げようとする姿勢が多く見られる。しかし、提出できない生徒もいる。 ・chrome book を活用した授業を行っているが、ほとんどの生徒が検索して文字を入力することができる。	・実験・観察に対して、意欲的に取り組む生徒が多い。 ・基礎的な内容を理解し、自分の言葉でまとめる力が付いている生徒が多い。 ・家庭での学習が身に付いており、提出物の提出率は高い。しかし、提出できない生徒や内容に不十分な生徒もいる。 ・疑問を持ち、それに対して自分の考えを示すことのできる生徒が増えてきている。 ・chrome book の操作は十分にできている。分からない場合でも互いに協力している。	・観察・実験への興味関心が高く、課題に集中して取り組むことができる生徒が多い。 ・実験観察の結果に基づいた確かな考察をする力が不足している。 ・提出物等の提出期限を守ることができない生徒が固定化している。 ・chrome book を活用した授業を行っているが、調べたことをまとめて発表できる生徒が多い。苦手な人にはプリント（手書き）で対応している。
指導上の課題	・基礎的な知識や技能の定着が不十分だと思われる生徒に対しての細やかな対応が不足している。 ・家庭学習の習慣化が不十分な生徒に対しての対応が不足している。	・学習したことを復習する機会が不足している。 ・一人一人が実験を行い、自分で考える機会が少ない。 ・レポートや調べた内容を全体に発表する機会が少ない。	・実験ができないところを動画で代用する機会が少ない。 ・学習したことを時間を空けて復習する機会が不足している。 ・思考力の問題についての説明する力、まとめる力が不足している。

改善プラン

	1 学年	2 学年	3 学年
学習面	・観察実験では、目的を意識して取り組み、仮説を立てたり、結果を考察したりする時間を確保する。 ・単元ごとのテストを行う。	・小単元ごとのテストを行う。 ・実験方法を工夫し、状況に合わせた実験を行うようにする。 ・学習事項を活用して、身近な事象について考える機会を設ける。	・観察実験については、目的に合った適切な考察を行う。 ・こまめに問題集を活用して復習を行い、単元ごとの小テストに意欲的に取り組む。
指導面	・1時間のねらいを明確にし、振り返りの時間を確保した展開をする。 ・問題集にこまめに取り組めるように的確な指示を早めに出す。 ・学習教室で個別に招集する。	・単元や授業のねらいを明確にし、振り返りの時間を確保した展開をする。 ・単元や授業のねらいに沿った発問の工夫をする。 ・問題集の取り組み方やテスト前の学習方法など一人一人に合わせた指導を行う。 ・実験・観察の考察を十分にを行い、自分の考えをもたせるようにする。苦手な生徒には、考え方の道筋を示すようにする。	・映像や画像を用いて、興味を引かせるとともに、視覚的に理解しやすいようにする。 ・既習事項の振り返りや発問の工夫をする。 ・入試に向けて、基本事項の徹底を行う。 ・学期に複数回、探究活動を行う。（自分または班で課題を設定し、仮説を立て、実験を考え実行し、考察する。）

評価

- ① 授業アンケート結果による達成度評価
- ② 定期考査観点別学習状況による評価
- ③ 小テスト、ワークシートによる評価